

内閣官房・内閣府本府等行政事業レビュー「公開プロセス」(結果)

【速報】

No.	事業名	評価結果	内 訳	取りまとめコメント	
①	出版諸費	事業全体の抜本的改善	廃止	0	<p>平成28年度のレビューでの指摘事項を受けて、様々な対策が講じられてきたこと自体は理解するが、前回論議の焦点であった新聞の扱いについては多くの課題が残されており、メディアの動向の現状を踏まえ、更なる見直しが必要ではないか。その際には、最新のメディアごとのコストパフォーマンスも考慮することが必要である。</p> <p>また、現在行っている新聞広告の効果検証方法に限界があることは明白であり、新たな手法の採用を促したい。</p> <p>視覚障害者の対応は必要なものであるが、聴覚などの他の障害をお持ちの方、また、日本語の不自由な外国人等も含め、現在、いわば広報の死角になっている部分についても検討を加えるべきではないか。</p> <p>政府広報を全体として把握して施策を進めるべきものと、5年前にも指摘されたところである。事業の名称にこだわるものではないものの、今回、レビュー対象が「出版諸費」のみでありながら、資料・説明は放送諸費その他に及んだことから見ても、事業の立て方を見直すべきではないか。</p>
			事業全体の抜本的改善	4	
			事業内容の一部改善	2	
			現状通り	0	
②	地方版総合戦略の推進に必要な経費	事業内容の一部改善	廃止	0	<p>一般的にはEBPMの推進という観点から有用な施策と考えられる。しかし、RESAS、V-RESASの事業目的の明確化、すなわち自治体が施策を策定する上での利用と、「その他の利用」について、それぞれ対応をどうするのか明確にする必要があるのではないかと。また同時に、その普及を後押しする専門家の派遣、研修の実施等についても、その目的の明確化に沿って、対応が考えられるべきである。</p> <p>利用が拡大されるにつれてRESAS、V-RESASの効果検証が必要となる。EBPMに利用されたと言っても、どの部分がどう役立ったかの検証がないままでは不適切である。専門家の派遣や研修等、利用に付随して行われる事項についても、同様に効果の検証が求められる。</p> <p>これらの検証を通じて、データベースの内容、その利用方法の改善が図られ、また将来的には、このデータベースの維持についての方向性を国が判断する材料にもなるものと思われる。</p> <p>なお、V-RESASについては新型コロナウイルス感染症対策と関係づけた説明を受けたが、V-RESAS自体が新型コロナの収束とともに終了するものなのかは不明確であった。予算額の大きさからも、あらかじめ明確にすべき事柄と思われる。</p>
			事業全体の抜本的改善	2	
			事業内容の一部改善	4	
			現状通り	0	
③	途上国等におけるSTI for SDGsの推進	事業全体の抜本的改善	廃止	2	<p>本事業は、非常に多種多様な形態の途上国支援がある中で、我が国の科学技術を活かしたビジネスの展開という側面を持つ点では、新しいタイプのものとして理解される。</p> <p>ただ、本事業自体は、我が国の科学技術を活かしたビジネス展開の実現までを含むものでないところが、本事業固有の目的や、本事業固有の評価を非常に難しくしているように思われる。</p> <p>説明では、「評価基準」はまだないとのことであるが、少なくとも、現在、成果目標として示されている「関係ステークホルダーが集う場を年3回以上開催する」等は、ビジネスに至る手前のプロセスである本事業における「活動」指標に過ぎず、アウトカムとして適切なものとは思えない。</p> <p>あくまで、本事業自体の実施の結果として求められる「変化」をアウトカムに設定し、それを目指して事業展開がなされていくものでなければ、本事業の意義、位置付けが充分には理解されにくいと思われる。</p>
			事業全体の抜本的改善	3	
			事業内容の一部改善	1	
			現状通り	0	